

事 祭 祭 祭

根 文 谷 月 汎 無 要 重 家 詔 国



拝殿前に灯る聖火

祭事曆

(七月～九月)

七月中

- 二日 月次祭 (午前十時)
- 十日 交通安全特別大祭 (午前十一時)
- 十八日 神輿祭 (午前十一時)
- 二十五日 燈籠神事大御膳献進 (午前九時)
- 神輿渡御・大燈籠巡行 (本年中止)
- 還御祭 (午前九時)
- 献華・献茶祭 (午前十一時)

八月中

- 二日 月次祭 (午前十時)
- 十日 交通安全月次祭 (午前九時)
- 二十五日 撰社 桜井神社例祭 (午前十一時)
- 二十七日 相撲節会 (午前九時半)
- 末社 上諏訪神社例祭 (午前十時)
- 末社 下諏訪神社例祭 (午前十時)

九月中

- 一日 風神祭 (午前十時)
- 二日 月次祭 (午前十時)
- 九日 末社 十柱神社例祭 (午前十一時)
- 十日 交通安全月次祭 (午前九時)
- 十五日 撰社 妻戸神社秋季祭 (午前十一時)
- 末社 二十二所社例祭 (午前十一時)
- 二十三日 秋季皇靈祭遥拜式 (午前十時)

事 神 籠 燈

国指定重要無形民俗文化財

当神社の祭儀の中でも最大規模である弥彦の夜まつり「燈籠神事」が、七月二十五日を中心に斎行される。

古くから「弥彦の燈籠押し」と称され、県内外から広く親しまれているこの神事は、越後の夏祭りを代表し、日本三大燈籠祭の一つにも数えられ、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統ある神事である。

盛夏を迎えるに当たり、五穀豊稔、疫病退散を祈り執り行われる。二十五日夜の神輿渡御、大燈籠巡行をはじめ数々の神賑行事が行われるが、昨年来の新型コロナウイルスの影響により、感染防止を第一として本年も神輿渡御、大燈籠巡行は中止となった。

舞童選定式

素講・御慣

神事は七月十二日の「舞童選定式」に始まる。大祭当日に御神輿が還御の後、拝殿前の仮舞殿にて奉奏される一社古伝の舞「神歌楽（かがらく）」「天犬舞（あまいぬのまい）」を奉仕する「舞童（ぶどう）」



二名を選定する式である。

古くは「神歌楽」を舞う舞童は旧社家中の、「天犬舞」を舞う舞童は旧神領民の、それぞれ九歳前後の嫡子が奉仕した。現在は神職・旧社家・氏子中より選定される。

続いて十八日には拝殿内に御神輿二基を奉遷し「神輿祭」が斎行され、祭典の後には神方・町方に分かれ「素講（すこう）」と称する諸事打ち合わせの儀式が行われる。

二十二日は「御慣（おならし）」と称する舞の習熟度を検分する儀式が行われる。その夜には「花揃（はなぞろえ）」と称して各大燈籠講中より奉納された造花や雪洞で飾った大燈籠が廻廊内両脇に据えられ、参道に献燈された田楽燈籠も灯され、境内は美しく照らされる。

神輿渡御

大燈籠巡行は

本年も中止

大祭当日二十五日の午前九時より特殊神饌である大御膳（おごぜん）を献進して祭典が斎行される。常ならば祭典後の日中には子供燈籠押しや里神楽奉納などの多彩な神賑行事があり、夕刻四時半から神輿渡御の順路を淨める「御櫓引き（おけやきひき）」、午後七時には大燈籠が神社から各講中の宿元へと下がる「宿下がり」。各宿元前では集結時刻まで講中地元の盆踊りなどが賑々しく披露される。午後九時、打ち上げ花火の轟く中神輿渡御・大燈籠巡行が幕を開ける。大燈籠を担ぐ若衆の威勢良い掛け声と数多の観衆が踵を接する中を、典雅な道楽とともに御神輿が渡御する。御神輿が還御すると、大燈籠が拝殿前の仮舞殿を囲繞し「神歌楽」「天犬舞」が奉奏される。



(写真提供 三條新聞社)

神事・行事予定

七月十二日	舞童選定式
十八日	十一時・神輿祭 正午・素講
二十二日	十五時・御慣 夕刻・花揃
二十五日	九時・大御膳献進 十八時・神歌楽 天犬舞奉奏
二十六日	九時・還御祭 十一時・献華献 茶祭
二十四・五・六日	開催の各種 神賑行事は中止します。

本年の燈籠神事は、昨年来の新型コロナウイルス流行の終息が未だ見通せない中で、従来通りに斎行する事は困難と判断し、本年も神輿渡御・大燈籠巡行は中止となった。ただし、昨年は神事のみを斎行、「神歌楽」「天犬舞」は大御膳献進に続いて拝殿内にて奉奏したが、本年は可能な範囲で本来の燈籠神事の姿とするため拝殿前に仮舞殿を設け、二十五日午後六時より大燈籠が取り囲む中で奉奏する。



(写真提供 三條新聞社)

神にちかう 心で果たせ 交通安全

交通安全特別大祭 七月十日

本県の交通安全宣言日である七月十日、交通安全と交通

事故の絶無を祈念して特別大祭が斎行される。



▶ 全講員に授与される 疫病除御守

大祭には、当神社にて車の清祓を受け交通安全を祈願された「彌彦神社交通安全講」一講員一万四千余名に案内がなされ、祭典後の交通安全大会には県知事・県警本部長・県交通安全協会長から交通安全を祈るメッセージが寄せられる。例年来賓をはじめ多くの講員が参列するが、昨年来の新型コロナウイルス拡大を受け、本年も講員の参列及び交通安全大会を中止する。

相撲節会

八月二十七日

併せて県下高校相撲大会



八月二十七日、当神社古伝の特殊神事である相撲節会（すもうせちえ）が斎行される。大前での祭典の後、神職・化粧廻しをつけた役力士・氏子会役員等が行列を組んで末社上諏訪神社に参拝し、境内相撲場へ向かう。各所で役力士による出数入り（でずいり）が奉納される。なお、この日には伝統ある第六十五回新潟県高等学校相撲大会が開催予定である。

神輿講と 大燈籠講中

残念ながら本年も神輿渡御・大燈籠巡行は中止となったが、神事及び関連の諸儀は従来通りに奉仕する。

去る五月三十日、本年の役燈籠及び巡行順次が大前にて卜定され、御神慮により次の通り定められた。「役燈籠」とは、神輿渡御に際して御神輿の前後をお護り申し上げる名譽ある役。本年も大燈籠を廻廊内に据え置く「上げ燈籠（あげとろう）」となるが、その位置も巡行順次に準ずる。神輿講 燈籠神事 神輿奉戴の会

神輿講 野積神輿講

- 一番燈籠 彌彦神社氏子青年講 (彌彦村)
- 二番燈籠 弥彦ひかり講 (彌彦村)
- 三番燈籠 矢作講 (彌彦村)
- 四番燈籠 池の山講 (新潟市)
- 五番迎燈籠 桜井郷講 (彌彦村)
- 六番押燈籠 袋津砂岡講 (新潟市)
- 七番燈籠 弥彦燈籠祭協賛会講 (彌彦村)
- 八番燈籠 上泉講 (彌彦村)
- 九番燈籠 寺泊一乗講 (長岡市)
- 十番燈籠 吉江講 (新潟市)

特別祈禱・田楽燈籠奉納 ご案内

燈籠神事斎行に際し、嘉例により家内安全等諸願の



成就を祈願する特別祈禱と、燈籠神事当日を中心として十日間境内に奉掲する田楽燈籠のご奉納を受け付けております。

特別祈禱の初穂料は 一件 金五千円以上
田楽燈籠の初穂料は 一燈 金一万円 一対 金二万円
なお、田楽燈籠のご奉納は、準備の都合上七月十日に締め切りますので、お早目にお申込みください。

彌彦神社前通り お食事処

松の屋

電話 〇二五六四二二〇番

わっぱ飯膳 松花堂弁当

お食事 **吉田屋**

弥彦外苑敷通り 電話 〇二五〇九四一〇二〇番

政府登録旅館 (三三七二号) 日観連会員

お宿だいろく

新潟県西蒲原郡弥彦温泉 電話 〇二五〇九四二〇二六番

弥彦温泉

旅館 **清水屋**

彌彦神社前 電話 〇二五〇二〇一五番

心和む

いにしえ郷の美味な宿

桜家

彌彦温泉 電話 (94) 二〇〇九番

総合建設業

一級建築士事務所 設計・施工

株河村組

弥彦大杉通り 電話 〇二〇六九番

妻戸大神例祭齋行 大々神楽全曲奉奏



【祭神・妻戸大神（熟穂屋姫命）の例祭が四月十八日午前九時、特殊神饌の大御膳を献じて齋行された。
祭典に続き当神社伝来の大々神楽全十三曲が境内舞殿にて奉奏された。大々神楽は大人の面舞六曲、稚児舞七曲からなり、神職と稚児八名により奉仕され、三月二日の大々神楽配役式以降稽古に励んだ成果を披露した。大々神楽は国の重要無形民俗文化財に指定されており、全曲奉奏は四月十八日のみ奉仕される。

弥彦山頂にて

春季神廟祭齋行

五月十日、天香山命（あめのかごやまのみこと）と妃神・熟穂屋姫命（うましほやひめのみこと）を奉祀する弥彦山頂の御神廟にて、春季神廟祭が渡部宮司以下の奉仕にて齋行され、県民の福祉と五穀豊稔、登山者の安全等が祈念された。



盛夏を前に疫病退散・除災招福を祈る「茅の輪まつり」が、昨年来の新型感染症の早期終息を願って六月十二日から三十日まで執り行われ、期間中多数の方々が茅の輪をくぐり参拝された。
三十日午後三時からの「夏越の大祓式」は、新型感染症罹患防止のため神職及び氏子会役員のみで参列にて拝殿内にて齋行された。年初めより知らず知らずの内に犯した罪穢を移した人形は大川へ流されて祓い浄められた。

お妻戸さまで御田植祭齋行



五月二十五日、妃神・熟穂屋姫命（うましほやひめのみこと）を奉祀する長岡市寺泊野積の撰社妻戸神社境内に設けられている約二畝の彌彦神社御神田において、恒例の「御田植祭」が執り行われた。
「御田植の儀」をはじめとする祭典の後、豊作を祈って陽光を表す赤い襷と豊かな水を表す青い腰紐を着けた妻戸妃神会（古川原直人会長）の会員の手によって、緑鮮やかな早苗が植え渡された。

茅の輪まつり

夏越の大祓式齋行



お役に立ちます
—夢づくり—

けんしん
新潟県信用組合
TEL 94-2222代

日本海・佐渡と
越後平野が一望できる——
弥彦山頂へ

弥彦山ロープウェイ
新潟県西蒲原郡弥彦村大字弥彦2898番地
〒959-0323
TEL (0256) 94-4141
FAX (0256) 94-4725

越乃銘菓「くもがくれ」
越後杵つき
県産こがねもち使用

御菓子処 米納津屋
燕市吉田上町 電話(93)二二四四
神社駐車場前 電話(94)四八一三
弥彦神社通 電話(94)一八二三

東京五輪聖火リレー

境内を駆け抜ける

この夏に開催予定の東京オリンピックにて灯される聖火が、境内を駆け抜けた。



聖火リレーは六月四・五日の両日に県内各地で行われた。六月五日午後一時、聖火は一の鳥居前にてランタンからトーチに移され、これを掲げた走者が大勢の観客の声援の中参道を疾走した。手水舎前で交代した次の走者は更に進んで石段を駆け昇り、拝殿前から南脇門を抜け弥彦山に向かった。次々と六人の走者にリレーされた聖火は再びランタンに移され、ロープウェイにて弥彦山を登った後、次の会場である新潟市へと向かった。

お知らせ

郵送での御祈祷について

厄祓や家内安全等の御祈祷（お祓い）は、当社にお越しになられてお受けいただく事が本来ですが、ご都合によりお越しになれない方のために、六月一日より当社ホームページ上からでもお申込みいただけるように致しました。お申込みいただいた御祈祷は、お越しいただいた時と同じく拝殿にて執り行い、御祈念申し上げた御神札等を郵送致します。

詳細は当社ホームページ yahiko-jinja.or.jp をご覧ください。

※ご注意
なお、お申込みはお電話でも受け付け致します。

○御札・御守等の授与に関しては、ホームページ上からはお申し込みできません。郵送をご希望の場合はお電話にてお問い合わせ下さい。

彌彦神社氏子会

総代に柳田 豊氏 副総代に狩谷 一則氏就任



狩谷副総代

柳田総代

去る三月二十一日、令和三年度彌彦神社氏子会定期総会が開催され、決算・予算の承認、事業計画等を審議し、本年度の活動を決定した。

また、昨年春に神田陸雄前総代が急逝されてより総代代行を務められていた副総代・柳田豊氏が総代に選出された。定員二名の副総代は、副総代・河村八郎氏が再任されるとともに、新たに狩谷一則氏が選

出された。柳田豊氏は河村八郎氏とともに平成二十五年より副総代、狩谷一則氏は昭和六十四年より氏子会役員を務められ、この間平成大修営事業、御遷座百年記念事業等の大事業をはじめ、年間諸神事において敬神崇祖の信条のもと率先垂範、氏子会を牽引されてきた。

宝物殿

五月より開館

宝物殿は昨年一・二月の冬季閉館後三月から開館予定であったところ、その頃より顕著となった新型コロナウイルスの影響にて引続き休館中であったが、五月一日より再び開館した。休館中には展示ケース内の照明器具更新など一部改修を実施した。

なお、従来は冬季を除き無休であったが、館内整備等のため六月より毎週月曜日（休日の場合は翌日）を休館日とするようになった（一・二月中冬季閉館）。

永井自動車
電話 (94) 4101

弥彦温泉

ホテルヴァイス
弥彦神社前通り
電話 〇五(94)五六二番

初宮詣と婚礼記念
彌彦神社認可

やなぎだ写真館
電話 (94) 四二五五番

東北電力(株)指定工事店
彌彦神社御用

株式会社 **高倉電気商会**
弥彦 駅前
電話 (94) 二二六〇番

二階 和カフェ
一階 和雑貨・和小物・おみやげ
社彩庵/ひらこお
彌彦神社前
電話 (94) 二二六二

弥生商店
新潟県弥彦村彌彦神社前
TEL (0256) 94-5841
FAX (0256) 94-5065
<http://yaoyosake-ten.jp>

特別寄稿

『燈籠押しに魅せられて』

全国氏子青年協議会副会長
彌彦神社氏子青年会元会長 羽生久美子

序

新潟県の中央部、越後平野を見下ろすやうに聳へる彌彦山の麓に、越後一宮彌彦神社はあります。御祭神「天香山命」は米作りや塩作り、麴を使った酒造りなどをこの地にもたらしました。人々は越後文化発祥の祖と崇め、「おやひこ様」と親しみをこめてお呼びします。

「おやひこ様」に随行して来た供人を中心村が形成され、発展してきた土地です。で、神社の存在はとも大きく、また身近です。弥彦に住まふ者にとつての一年間は、神社の祭礼とともにあると言つても過言ではありません。

私も保育園の年中組から小学校卒業までの八年間、小神楽の舞童として、三日ごとに神社へ通つてをりました。「おやひこ様」が神去られた二月二日に斎行される例祭では、特殊神饌の「大御膳」が献じられ、小神楽が奏上される慣はしです。重要なお祭りなので小神楽も特別な支度で、頬には紅を付けます。

お祭り終了後、学校まで送つてもらふのですが、頬の紅が恥づかしく、雪で必死にこすり落としながら教室へ入つたものです。

さて、彌彦神社で最も賑はひを見せるお祭りといへば、七月二十五日に執りおこなはれる燈籠神事です。このお祭りは千年の歴史があると言はれてをり、国の重要無形民俗文化財の指定も受けてをります。

たいそう勇壮な夜祭り、大人十五人程で担ぐ格子作りの燈籠の上に、それぞれの講中が趣向を凝らした造花を飾つた「花燈籠」十数基が、二基の「おみこし様」を中心に行列を組み、およそ二時間かけて村内を一巡します。これは「おやひこ様」が稲作の出来や、民の暮らしぶりを巡視なさるのが目的と伝へられてをります。人々は「おみこし様」に手を合はせ、この年の五穀豊穡と村の平穩を願ひます。

二基の「おみこし様」はとも重く、曲がり角に来ると道の端まで軌道が大きく膨らむため、子供の頃には恐くさへ感じられたものです。「おみこし様」の前後には花燈籠が随行し、村にはそれぞれの講中に伝はる木遣りが響きます。蠟燭の明かりに照らされた花燈籠が連なる様はとても幻想的です。

巡行中、花燈籠は技や力を競つて押し合ひや揉み合ひを繰り返します。押し合ふ双方の燈籠の準備が整ふと、木遣りが「わっしょい、わっしょい」のかけ声へと変はり、花燈籠の花もその声に合はせて小刻みに揺れます。

双方の担ぎ手の気持ちが高潮に達すると、二基の燈籠を隔ててゐた太鼓車が拍子木の合図で勢ひよく退き、それと同時に燈籠は勢ひよく前へ進み押し合ひます。古来、彌彦の燈籠押し」とも言はれ、親しまれてきました。

次回からは、この「燈籠押し」に魅せられた女の子の話を見せて戴きます。

その一

氏子青年会の全国大会が初めて彌彦で開催されたのは昭和五十五年の夏のことです。この年は私にとつて忘れられない年になりました。

つてをり、全国大会でおこなはれる「燈籠押し」の準備の話が夕食時の話題となりました。子供だった私は父の話を聞くたびに、「今年も燈籠押しが二回も観られる」とわくわくしてゐました。この「燈籠押し」は本来、彌彦神社の夏の大祭でおこなはれますが、子供たちが参加できる行事もあります。しかし、残念なことに女子は参加できず、悔しい気持ちを日々つのらせてをりました。

ある日、母と大会の話をしてゐる父に「女子もお祭りに参加させてほしい」と日頃の思ひをぶつけました。父は「なるほど」と私の話を聞いた後、「ここで悔しがつてゐてもしかたがない。もうすぐ祭りの会議があるはずだから、明日役場へ行つて言つてこい」と言ひました。「氏子青年会主幹の行事なのに、なんで会員のお父さんが言つてくれないのか？」と私は食ひ下がりました。父は「お父さんが言つたのでは駄目だ」「早く行かないと、会議が終はつて手遅れになるぞ」と言ふのです。

「それはたいへん」と思つた私は、翌日登校すると直ぐに、友達に声を掛けてまはりました。

樽神輿を実際に見たことが無い子も多く、なかなか思ふやうにいきませんでした。が、

新潟県彌彦温泉
美味満開
なだいや

名代家
電話(94)211-113

彌彦の奥湯 観音寺
山里の花木に囲まれ香鼓

HOTEL
上州苑
電話(0)56(94)211-114

御菓子司
三笠屋

彌彦神社前通
電話(0)35(94)211-157

弥彦伊夜比古お兔
本店 彌彦神社前通り
TEL 九四一〇〇七
FAX 九四一五三八
支店 彌彦駅前通り
TEL 九四一四一九〇

神にちかう
心ではたせ
交通安全

彌彦神社交通安全講

県下二十九支部

新潟県菊花連盟

事務局 彌彦神社内

なんとか二十四人を集め、放課後役場へ向かひました。觀光課の窓口へ行き、参加希望者に書いてもらった署名を渡すと、窓口の担当者はたいそう驚き、「ランドセルを担いだ陳情団が来た」と、特別室へ通して下さいました。

そこで、觀光課の課長さんと、緊急に呼び出された氏子青年会の会長さんが私の話を熱心に聞いて下さいました。会長さんに「先生に言つて来たのか？」と尋ねられ、私は「やうやく先生に言ふのを忘れたことに気が付きました。同時に「四十人集めなさい」と課題を戴きました。

翌日、「先生に叱られるなあ」とドキドキしながら登校しました。案の定、始業のチャイムが鳴ると私は担任の先生に廊下へ呼び出され、「昨日役場へ行ったの？」と尋ねられました。私が、小さな声で「はい」と答へると、先生は「さうか、もういいよ」と教室へ帰して下さいました。この話を聞いてゐた学年主任の先生は、私に何か言はうとしましたが、担任の先生が「私が話しますから」と私を庇つて下さったのです。今でも思ひ出すたびに頭が下がります。

一学年上の先輩の協力を得て目標を達成し、この年から、女子の参加が認められました。氏子青年会が用意してくれた真新しい半被に手を通して時の嬉しさは、生涯忘れられません。

◇ 四十人集めるといふ課題は、

社頭往来

- 三月
 - 四日 三条市長谷川良雄氏参拜
 - 十日 新潟縣神社廳西蒲原支部一行参拜
- 四月
 - 二十一日 彌彦神社氏子会一行参拜
 - 五日 新潟県宗教者懇話会役員一行参拜
- 五月
 - 十三日 西蒲原神社総代会役員一行参拜
 - 十六日 第二十六回ねりんびック一行参拜

大々神楽講参拜

(三月・四月・五月中)

- 新潟市北区 松浜講
- 中央区 聖嶽講
- 江南区 原寛
- 秋葉区 四十五人講
- 西区 五十嵐弥彦大々講
- 〃 山田講
- 〃 大野町講
- 南区 白根講
- 〃 茨曾根講
- 〃 新飯田講
- 〃 福井大々講
- 〃 西蒲区 卷弥彦神社敬神講
- 〃 燕市 旧松永正心講
- 〃 燕不動講
- 〃 燕市 三大字講
- 〃 小中川誠心講
- 〃 蔵関大々講
- 〃 小池講
- 〃 下保内講
- 〃 東光寺講
- 〃 湯村講
- 〃 長岡市 島田講
- 〃 見附市 金沢弥彦大々講
- 〃 柏崎市 今町弥彦大々講
- 〃 新発田市 中浜大々講
- 〃 大友講
- 〃 大沢講
- 〃 加治万代講

御祈祷奉納者芳名

(令和三年三月一日より
令和三年五月三十一日まで) 敬称略

- 新発田市 大野戸野港講
- 加茂市 鶴ノ森講
- 五泉市 笹堀講
- 〃 宮野下講
- 〃 弥彦村 弥彦大々講
- 五泉市 小熊伊夜日子講
- 〃 土淵講
- 〃 五泉弥彦敬神講
- 〃 弥彦大々講
- 西蒲原郡 弥彦競輪
- 東京都 全国神恩報賽会
- 新潟市中央区 善宝寺小杉講
- 田中石油 (株) ユアテック新潟支社
- 県央営業所
- 燕市 山本雪 古沢英紀
- 南魚沼市 南魚沼市立六日町中学
- 新潟市中央区 弁護士法人青山法律事務所 阿含宗新潟地区
- 西区 (株) アップライズ (株) ライ

特別大祈祷奉納

特別祈祷奉納

<p>新潟の冬に鍛えられた 除雪機</p>  <p>フジイコーポレーション(株) 燕市小池285番地 TEL 0256-64-5511</p>	<p>新潟県/弥彦温泉 政府登録国際観光旅館(登録1984号)</p> <p>四季の宿 みのや</p>  <p>〒959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦 ☎ 0256-94-2010 (代) FAX 0256-94-4463</p>	<p>彌彦神社氏子青年会 会員募集</p> <p>事務局 彌彦神社内 (〇二五六・九四・二〇〇一)</p> <p>元祖温泉饅頭 弥彦みかげに 祥立堂</p> <p>電話 (〇五〇) 042-1058</p>
---	---	---

今秋の敬神旅行のご案内 《宗像大社・高良大社特別参拝と 北九州美食紀行》

本年は、日本を代表する神社に数えられる宗像大社と、筑後国一宮・高良大社の、福岡の著名大社二社を正式参拝致します。
また、筑前国一宮で三大八幡宮のひとつである筥崎宮も参拝し、水の都柳川では城下町を眺めながらの川下りをお楽しみいただけます。

宿泊は九州を代表する大都市・博多と、美肌の湯として知られる佐賀県の嬉野温泉です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

※行程は一部変更される場合があります。
※新型コロナウイルス拡大状況により中止する場合があります。

〔募集要項〕

1. 期 日 10月5日(火)～7日(木)
2. 募集人員 50名(最少催行人員25名)
3. 参加費 133,000円(申込金10,000円を含む)
4. 申込締切 7月30日
5. 申込先 彌彦神社社務所
6. 行 程

10/5(火)
新潟各地-新潟空港-福岡空港-博多(昼食)-筥崎宮(自由参拝)-宗像大社(正式参拝)-博多(泊)

10/6(水)
博多-高良大社(正式参拝)-柳川(昼食・川下り)-嬉野温泉(泊)

10/7(木)
嬉野温泉-秘窯の里大川内山(見学)-名護屋城博物館(見学)-呼子(昼食・見学)-博多の食と文化の博物館ハクハク(見学)-福岡空港-新潟空港-新潟各地

別大祈禱奉納

フアシスト
西蒲区 J.A.越後中央越のかがやき米改良協会
燕市 三星金属工業(株) (株)カドク
三条市 石澤照彦
長岡市 (株)大原鉄工所 大原電業(株)
十日町市 十日町市立南中学校
東京都 石油鉱業連盟 三菱商事(株) 三菱商事天然ガス開発(株)
富山県 (株)ほくつう富山支社

中央区 (株)INPEX国内E&P事業本部削井ユニット (株)大林組北陸支店 (株)スディックス
国際石油開発帝石(株)
秋葉区 (有)渡辺不動産
西区 ヤマト運輸(株)新潟主管支店 ヤシママーグリーンステム(株)
新潟営業所 田巻稔
西蒲区 山田三枝
燕市 (株)サイトウ電設 森井紙器工業(株) 吉川金属(株)・(株)ヨシカワ
三条市 飯塚勇一
長岡市 (株)中元組 (株)ハセガワ建商 ハママンフーズ(株) 池田知久
風間澄玲
柏崎市 ネイチャールランド椎谷

大祈禱奉納

小千谷市 小千谷市立片貝中学校
上越市 (株)エム・アイ・デザイン
パン 古川芳一
胎内市 八幡豊子
魚沼市 魚沼市立小出中学校
西蒲原郡 弥彦観光索道(株)
東京都 全農東日本エネルギー(株) (株)スタジオポデデザイン 開運美人塾
静岡県 (株)福積丸
京都府 一般社団法人一華五葉
福岡県 玄米結びやiT.O.

新潟市中央区 熊田智宏 真柄仁

外 祭

三月 中
二十一日 西蒲原郡ファミリアル 弥彦放課後等デイサービスサクセスランド開業清祓

四月 中
十一日 西蒲原郡櫻井神社盆踊り 樽竣功清祓

五月 中
七日 西蒲原郡伊彌彦米お田

本間由起子
西区 古俣未希 丸山純子
諸橋佳奈子 山田政雄
西蒲区 (株)末広製菓 大越元喜
竹内亮子
燕市 フジイコーポレーション(株)
吉田金属工業(株) (株)杭州飯店
徐直幸 笑美の会 浅間ふみ
三条市 石月春美
長岡市 日本通運(株)中越支店
リラクゼーションサロンハートラインズ 栗林智咲
新発田市 ほんま商店
加茂市 落合穂歩
上越市 小林賢也
十日町市 樋口仁
東京都 藤原雅一
宮城県 若柳整骨院
群馬県 BSコンサルタント合同会社 野村洋一
埼玉県 本郷太一
神奈川県 (株)オンリーストリー
山梨県 室岡浩
長野県 田村里穂子
京都府 (株)かせがせや
岡山県 岡本武士

訂正とお詫び

前号(三〇三号・四月号)掲載の「御祈禱奉納者芳名」中、次の通り訂正致します。

別大祈禱
長岡市 野積妻戸講

令和三年七月一日 発行

〒九五九一〇三九三
新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦
彌彦神社社務所
電話(〇五五六) 九四一〇〇一
FAX(〇五五六) 九四一四五二
印刷所 北洋印刷株式会社

雪のように清く
湧水のように尊い
本物の国酒を愛する人へ

泉 流
こしのはくせつ

醸造元
弥彦酒造株式会社
西蒲原郡弥彦村上泉1830-1
TEL 0256-94-3100



植え祭

二十八日 東北電力ネットワーク
弥彦山配電設備改修工事・弥彦山ロープウェイ関連工事安全祈願祭
現地清祓